

水際線のまちづくりにおける サインの整備について（審議）

説明内容

- 0 水際線サインの役割と種類
- 1 水際線とまちのつながりを強化する結節点
- 2 ルートサイン

水際線サインについては、水際線全域に渡って配置されること、水際線のまちづくりの全体像の中で、さらにその質の向上に向けてご意見を伺うためにお諮りするものです。

0 水際線のサインの役割と種類 ~水際線上の各エリアをつなぎ、楽しみながら移動できるしかけ~

水際線とまちが交差する7か所に「結節点サイン」を設置するとともに、水際線上を楽しみながら移動できるよう路面上に「ルートサイン」を設置することで、水際線とまちの回遊性向上を図ります。



0 水際線のサインの役割と種類

～水際線上の各エリアをつなぎ、楽しみながら移動できるしかけ～

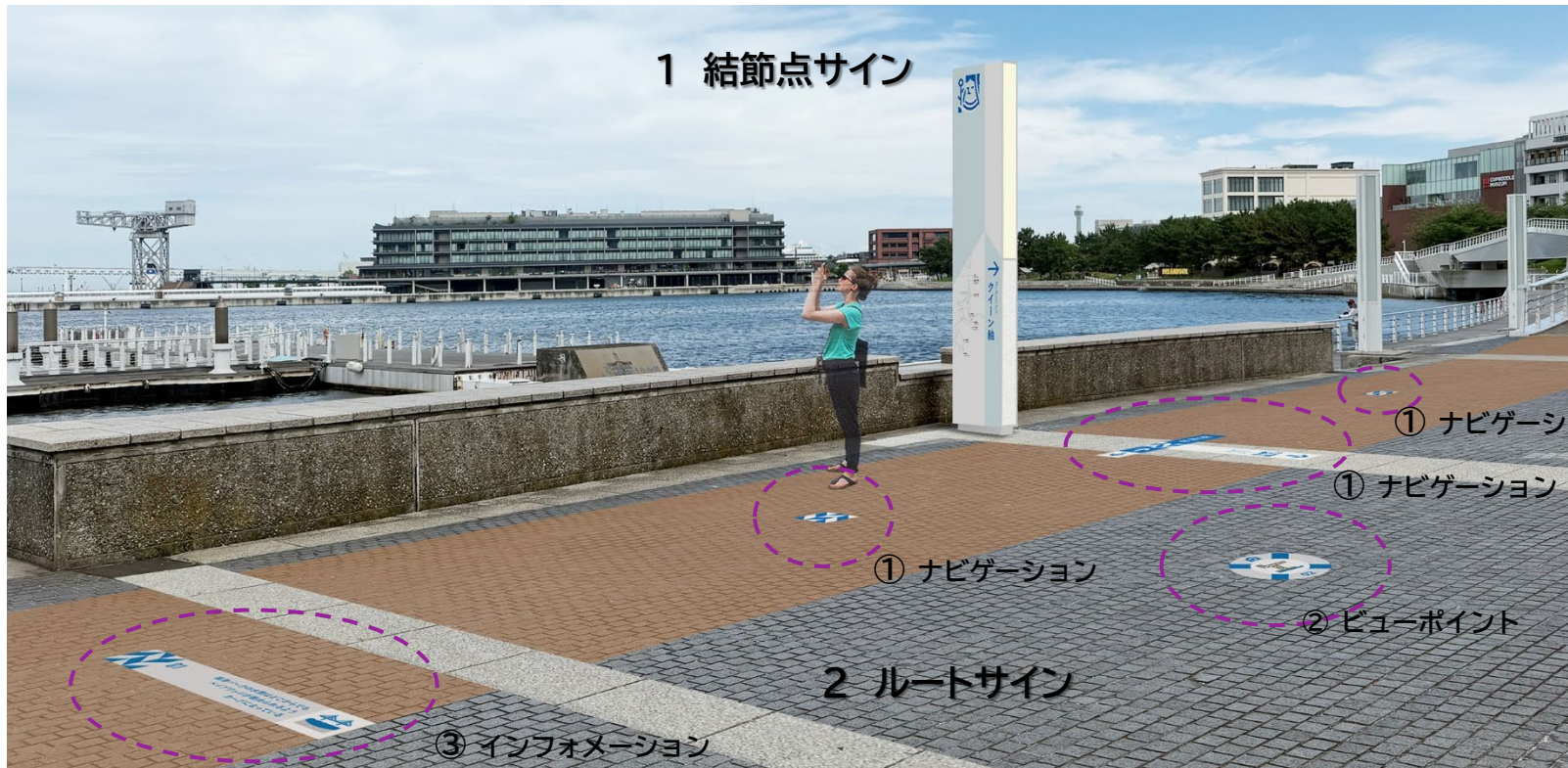
1 結節点サイン 水際線とまちをつなぐ

水際線から「まちへも行きたくなる」

2 ルートサイン 水際線を際立たせる

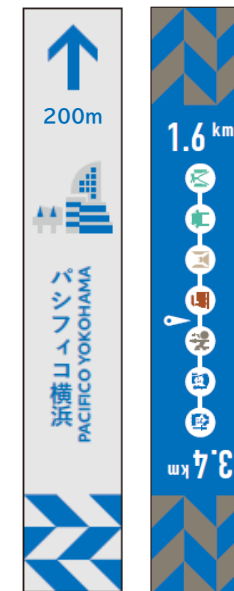
水際線を「歩きたくなる」

ふかりさん橋～女神橋



① ナビゲーション

近くの「行きたい」がすぐわかる



② ビューポイント

「絶景ポイント」を見逃さない



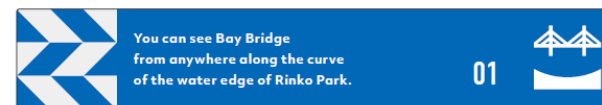
横浜港駅



新港地区から大さん橋

③ インフォメーション

まちの「おもしろい」が見つかる

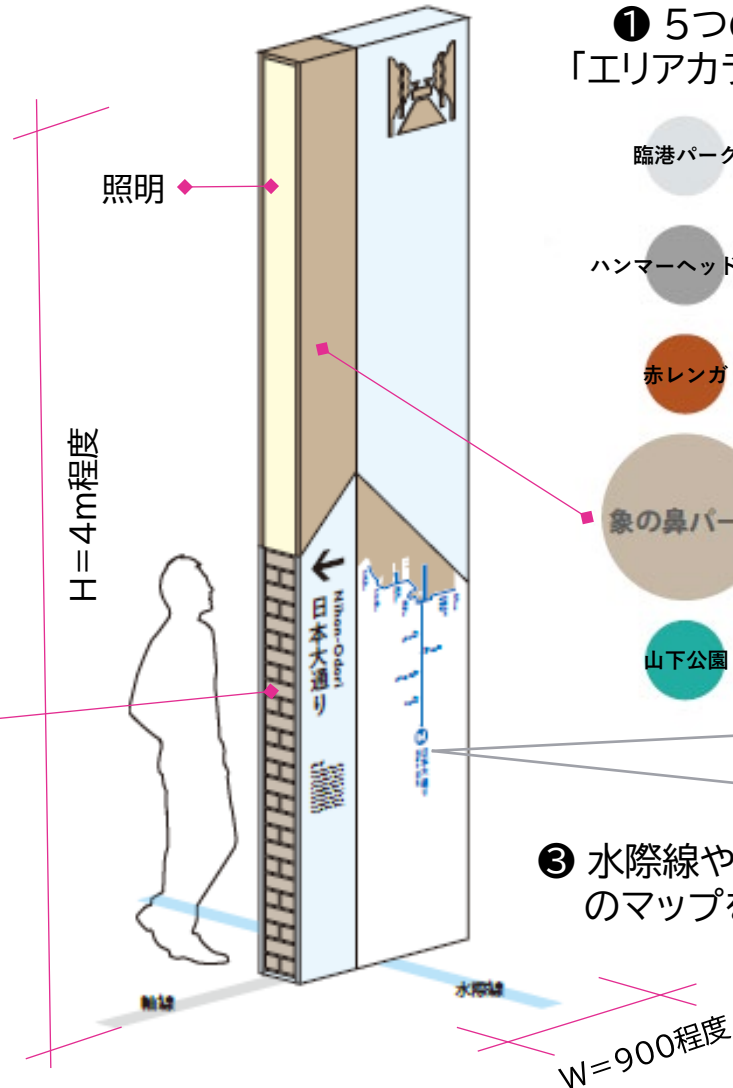


1 結節点サイン

「水際線からまち」へ、「まちから水際線」へと人の流れを生み出していくために、
「主要な鉄道駅」と「水際線」を結ぶしかけの一つとして、結節点サインの設置を行います。

② まちなかの軸線を象徴する7つの「素材」

- ① 横浜駅～臨港パーク(キング軸)
- ② 桜木町駅～臨港パーク(クイーン軸)
- ③ 桜木町駅～ハンマーヘッド(馬車道)
- ④ 桜木町駅～赤レンガ(自動車道)
- ⑤ 関内駅～象の鼻(日本大通り)
- ⑥ 石川町駅～中華街～山下公園
- ⑦ 石川町駅～山下公園

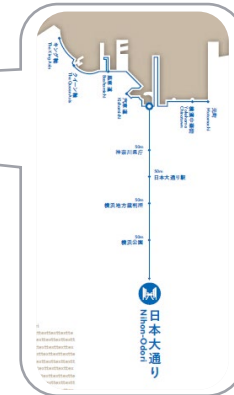


① 5つの「エリアカラー」

- 臨港パーク
- ハンマーヘッド周辺
- 赤レンガ
- 象の鼻パーク
- 山下公園

- ① その場所の個性を表す「エリアカラー」を基調とした広い盤面
- ② まちなかの軸線を象徴する「素材」を間に挟み込むことで地域性を持たせる
- ③ 広い盤面を使ってマップを掲載
 - ・水際線上の現在地を示す地図や番号
 - ・まちなかの情報

③ 水際線やまちなかのマップを掲載

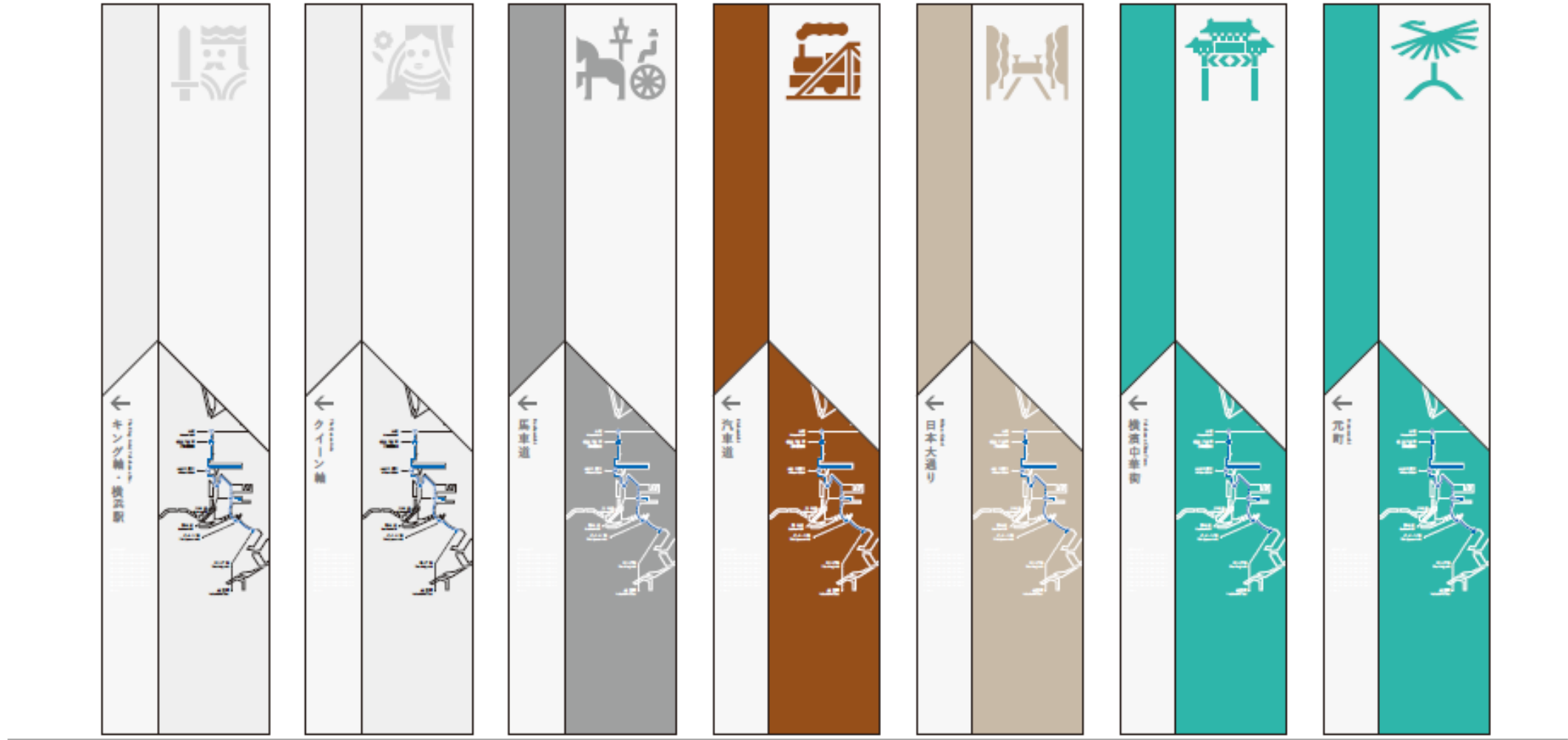


1 結節点サイン



エリアカラー展開イメージ

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



2 ルートサイン



水際線上の5つのエリアをつなぎ、水際線そのものを顕在化させ楽しみながら移動できるサイン

①ナビゲーション

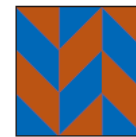
- ・現在地や近隣施設への方向や距離等を伝えるサイン
- ・水際線を可視化する「モチーフ」を連続的に配置
(□150mm、@10~15m程度)
- ・ベースにエリアカラーを用い、施設を示すピクトを掲載
- ・モチーフが一直線上に揃うように配置
- ・サイズは900mm×150mm程度

《モチーフの考え方》



- ・「海の青」と「水際線を構成する5つのエリアを示すカラー」で水際線を可視化
- ・平行四辺形をモチーフにして「水際線を人が行き交う様子」を表現

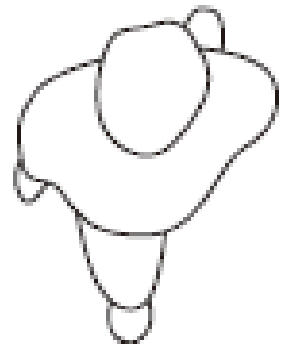
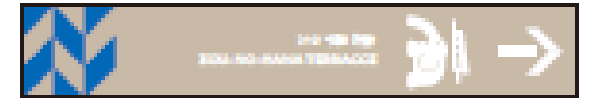
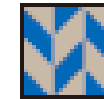
《デザインとカラー展開イメージ》



N4 900×150



《設置イメージ》



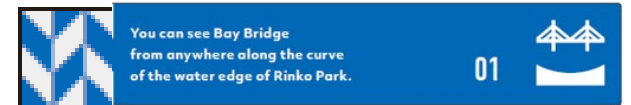
2 ルートサイン



②インフォメーション

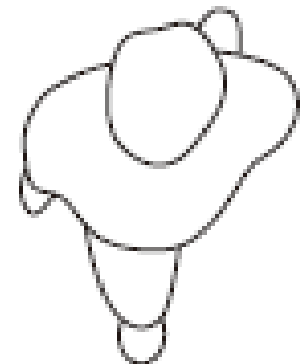
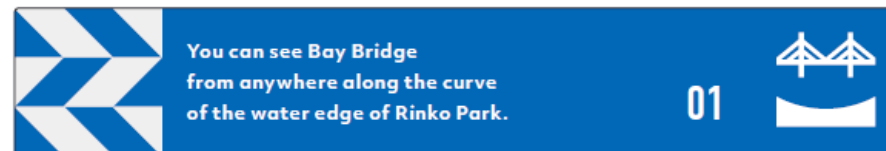
- ・エリアの魅力(トリビアなど)を伝えるサイン
- ・ベースはエリアカラーを使い、トリビアに対応したピクトを掲載
- ・日本語／英語 それぞれを表示します
- ・モチーフが一直線に揃うように配置します
- ・サイズは900mm×150mm程度

《設置イメージ》



《デザインイメージ》

T1: 臨港パーク内



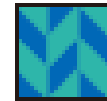
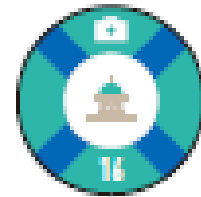
2 ルートサイン

③ビューポイント

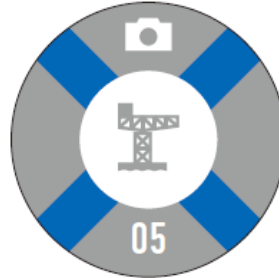
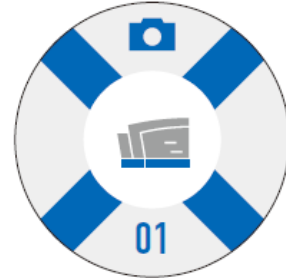
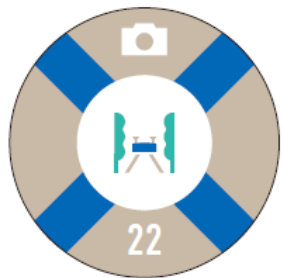
- ・ 写真スポットとなる視点場や、歴史的建造物などを伝えるサイン
- ・ 歴史的建造物や特徴的な風景を表すピクトを載せます
- ・ 大きさはφ300mm程度

《設置イメージ》

インド水塔



《デザイン及びカラー展開イメージ》



2 ルートサイン 配置の考え方

ルートサインは設置する場所の特性(照明や舗装のピッチ、パターンなど)と合わせて総合的に配置を検討します(ビューポイントは必要な位置に設置)。
また、今回設置する水際線サインと重複する「開港の道」などの既存サインは、整理、統合を検討します。



臨港パーク : 舗装パターン、照明のピッチ概ね13~14mに合わせて配置する。

